

編集後記

(65巻 第10号 2019年10月)

日本と韓国の関係が過去にないくらいこじれる中、第36回日韓泌尿器科会議に参加するためソウルを訪れた。今回は East Asia Urological Oncology Society (EAUOS) の会議と連続で行われたため、3日間滞在したが、やはり、韓国の先生方とはまったく違和感なくお付き合いできた。

ソウルの繁華街でも、日本人、特に若い女性を多く見かけたし、反日を思わせるような雰囲気はまったくなかった。ふらっと入ったレストランでも親切に対応してくれた。ただ、やはり経済が思わしくないのだろうか。繁華街には閉まっている店も多く、以前より人通りも少ないように思えた。

来年の37回会議は鳥取大学がホストとなって米子で行われるので、皆さんも是非参加してください。

(小川 修)